

# 幼稚園教育実習・保育所実習における読み聞かせの実態 —実習事後指導のアンケート調査より—

## The actual situation of the story-telling in kindergarten school training, the nursery school training

— From the Questionnaire Survey on Practical Training Guidance —

松尾裕美・阿南寿美子\*

Hiromi Matsuo · Sumiko Anami

### I. はじめに

保育の実践力を修得することは、少なくとも保育技術のみを向上させることだけを示すことではない。保育学について学んだ知識や観察力があり、保育者として子どもの前に立つとき、何を「ねらい」とし、どのような環境を構成すればよいかを理解しておかなければならない。保育者養成校に在学する学生は、幼稚園教諭免許または保育士資格を取得するための実習の中で、保育者の子どもへの関わりや言葉がけ、環境への配慮を学びながら、保育実践を重ねていく。

実習の実態を調査している先行研究は多くあり、それらは主に保育記録及び実習日誌を扱った研究は多くまとめられているものの、事前指導の際の学生の準備内容が実習においてどのように扱われ、またどのように活かされているか明らかにしているものは見当たらない。そこで本研究では、学生がどのような準備を整えて実習に臨み、実践を積んでいるか、事後にアンケート調査を行うことにより、実習生の実態から捉えた保育実践のあり方について探り、学生の実習に向かう姿勢が、実習のねらいと適合しているかを考えながら検討した。また、保育内容「言葉」の教授内容にも示されている絵本などについて、保育者としての実践力に繋がる準備であったか、改善点を含めた気づきに積目した。

本編では、保育者養成校の学生の実習に対する事前

準備が実践へと結びつくものであったかに焦点をあて、絵本、紙芝居など子どもの言葉を育む遊びについて考察していく。

### II. 幼稚園教育実習及び保育所実習の目的と意義

幼稚園教育実習は、大学で学んだ理論や技術を実際の幼稚園における幼児教育として実践することで応用力を養い、幼児に対する理解を通して理論と実践の関係について学ぶとともに幼稚園教諭にふさわしい態度を身に付け自己の適正について問いかけることを目的とする。<sup>1)</sup>

保育実習は、その習得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これら総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟させることを目的としている。<sup>2)</sup> これらを目的として、保育者養成校の学生は、実際の保育現場で「保育者」としての立場を意識し、実践を積み重ねながら、子どもの発達過程、保育者の職務・責務について学ぶ。保育内容等についても実践を通して把握し、理解しつつ、将来の保育者としての自覚や実践力を含めた専門性を高めていくことが期待されている。

文部科学省「教職課程コアカリキュラム」には、教育実践並びに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。<sup>3)</sup>と明記されている。教職課程コアカリキュ

\* 西南女学院大学短期大学部保育科

ラムを意識しながら実習の意義を考えると、以下に挙げる4つの視点にまとめられるのではないだろうか。

1. 実習中、子どもと毎日顔を合わせるにより、子どもの興味関心、子どもの心の動きを感じ取り、子ども観について学ぶ。子ども同士の間や子どもの世界がどのようなものか少しずつ理解できてくる。見学者ではなく「一緒に遊ぶ」「一緒に取り組む」ことにより子どもと同じ空間、時間を過ごすことにより子どもの心の動きに触れることが出来る体験でもあると思われる。つまり、子どもの実態や課題を把握し観察を行う。
2. 大学で学んだ理論や知識を保育者として子どもに向けて実技として行うことによる学生自身の気づき、体験や経験することによる発見を通して得ることが出来る現場理解の改善点である。保育に必要な基礎的技術（話法、保育形態、保育展開、環境構成）を実地に即して実践しながら、PDCD サイクルの中で総合的に実践力を磨く体験である。
3. 保育の現場での子どもとのやり取りだけではなく、見えない部分への気づきが挙げられる。保育のために行う保育者の細かな仕事内容や保育者自身の人間性の成長の機会であると思われる。掃除、挨拶、自己管理能力、安全配慮を始め保育の現場では、子どもの発達だけではなく、学生が一人の大人としての「保育者として成長する」体験である。
4. 実習を通して、自己実現のために行ってきた保育者への道のために理論と実践を学びいざ保育現場での実習期間に、「うまくいかない、こんなはずではなかった」と自分が保育者として適格者であるのかを再考し、自分と向き合う経験となることがある。また、反対に目的意識も前者に比べるとそれほどなく、単位修得のために実習を行い、日々子どもと過ごす中で、子ども達の感性や心の動きに触れ、職業意識に変化が表れ、「保育者になる」という目的が定まる機会でもある。後者の場合は、実習をすべて終わる頃には、「達成感」「自信」「成長」を感じる学生が多くいることも挙げられる。

### Ⅲ. カリキュラムの中の「絵本・物語」

「幼稚園教育要領」第1章総則、「保育所保育指針」第1章総則、「幼保連携型認定こども園・教育保育要領」第1章総則において、「幼児期の終わりまでに育ってほ

しい姿」として「言葉による伝え合い」の中で、「【保育教諭等、先生、保育士等】や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。」と記されている。それぞれの「ねらい及び内容の取扱い」において「絵本や物語」と表記されているが、平成29年度告示「保育所保育指針」第2章、1歳以上3歳未満の保育に関するねらいにおいては、絵本や物語のほかに「紙芝居」も加えられている。絵本、紙芝居、物語など子どもにとっての言語表現の教材として「伝える」が重視されたことと考えられる。簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶことにより、言語表現が豊かな成長へと導くことが期待される。

幼稚園教育要領解説には「幼児は、絵本や物語などの中に登場する人物や生き物、生活や自然などを自分の体験と照らし合わせて再認識したり、自分の知らない世界を想像したりして、イメージを一層豊かに広げていく。」「読み聞かせを通して、幼児と教師との心の交流が図られ、読んでもらった絵本や物語に特別な親しみを感じるようになっていく。そしてみんなで一緒に見たり、聞いたりする機会では、一緒に見ている幼児同士も共感し合い、皆で見る楽しさを味わっていることが多い」<sup>4)</sup>と示されている。

ここでいう絵本や物語は、ストーリーのあるものだけではなく言葉遊びの本など言葉の感覚を楽しむ内容も含まれており、子ども達が言葉の正しい意味や正しい使い方が理解できるようになることを目指していることが伺える。それは、言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現の方法を身近に感じられるように盛り込まれている。

## Ⅳ. 研究の方法

### 1. 対象

A 市内の保育者養成校短期大学  
1年生 42名、2年生 30名  
B 市内の保育者養成校大学  
2年生 79名、4年生 63名  
合計 214名

## 2. 調査時期

2019年4月及び6月

## 3. 方法

10日間の保育所実習または幼稚園教育実習の実習事後指導において、回答は任意であることを伝えたくて協力を依頼し、許可が得られた学生のみ調査を行った。アンケートは半自由記述形式とし、「実践した絵本または紙芝居、手あそび・指あそび・歌あそび・言葉あそび等の名前」、「実践のタイミング」、「実践対象の年齢」、「準備しておいて（しておけば）よかったこと」の項目について回答を依頼した。

提出されたアンケートをもとに、①絵本・紙芝居の事前準備及び実践の状況、②実践のタイミング、③準備した絵本・紙芝居の詳細を中心に纏めた。

## 4. 倫理的配慮

本研究の趣旨を学生に説明し、研究への協力について依頼すると同時に、調査における集計データは個人が特定されないように配慮を行うことについて詳細な説明を行った。

## 5. 結果と考察

### ①絵本・紙芝居の事前準備及び実践の状況

絵本・紙芝居の準備及び実践の状況は図1に示す通りである。最も多い区分は準備・実践ともに2冊である。

平均を見ると準備は4.56冊、実践の平均は3.25冊である。実践が0冊である実習生を除くと、半数以上が1～3冊の読み聞かせを実践している。

準備した絵本・紙芝居よりも実践した数は少なくなっている。実習時の園行事や一日の流れ、または実習生の教材実践の申し出の有無にも関係するかもしれないが、準備した教材を全て実践することは難しいことがわかる。

絵本と紙芝居の内訳を比較する（図2）と、絵本は904冊準備されているのに対し、紙芝居は76冊となっている。実践数は、絵本640冊に対し、紙芝居は56冊であり、紙芝居よりも絵本を準備・実践することが多いことは明らかである。今回調査した学生の中で紙芝居を準備した実習生は32人であり、全体の15.0%を占めていた。紙芝居を準備している実習生のみでは、絵本・紙芝居全体で最も多い区分と同様に2冊程度を準備していた。

絵本は日頃から自宅や書店、図書館で目にする機会もあり、選び方や実践の方法を含め、授業で取り扱われることも多い。そのため、知っている題材や内容も多く、実践の方法がイメージしやすいであろう。それに対して紙芝居は幼いころ読んでもらった経験も少なく、普段から目や耳にする機会もあまりないため、身近に感じにくいのではないだろうか。また、紙芝居はト書きなど絵本には見られない特徴や舞台を用いることもあるため、めくり方や扱い方など、実践の在り方

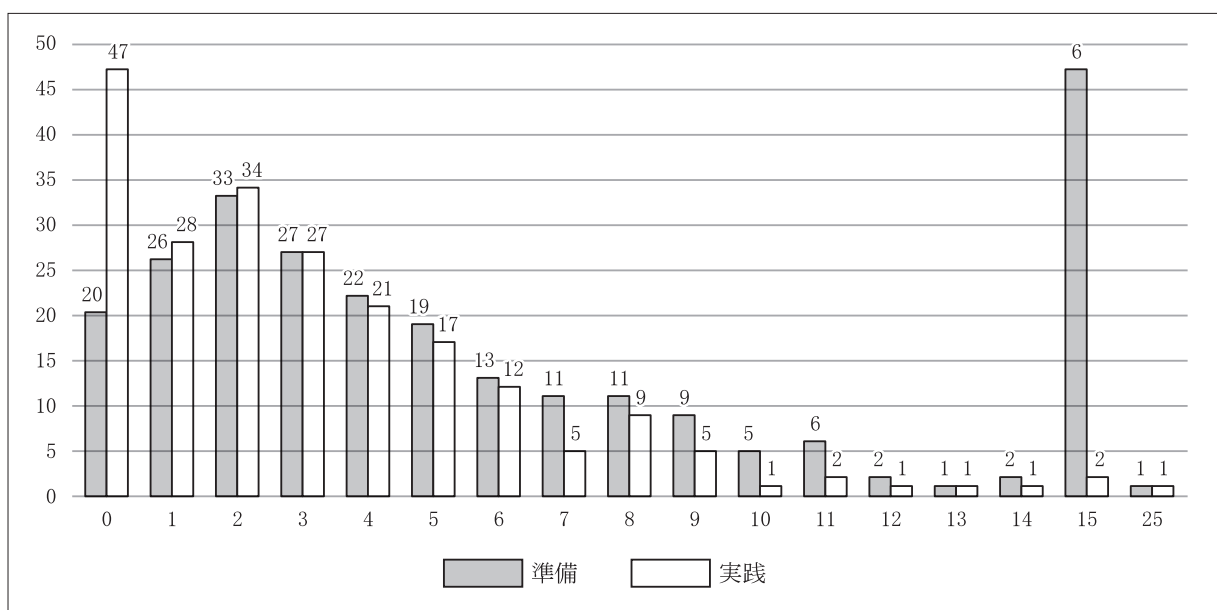


図1 絵本・紙芝居の準備及び実践一覧

が周知されづらいということもあるだろう。そのため、実習で子どもに読み聞かせをする場面においては、自らの経験に基づいて紙芝居よりも絵本を選択する学生が多いと考えられよう。

### ②実践のタイミング

絵本・紙芝居を実践するタイミングについては、類似の回答を集約した。実践する場面は一日の中でさまざまであるが、全体で集まる活動及びその前後で行われていることが多い。また、部分保育や設定保育を行う中で導入として絵本の読み聞かせを取り入れているようである。

そこで、どの時間帯において実践することが多いのかを明らかにするために、園の一日を「朝の会を含む前後の活動」（朝の会前、朝の会、朝の会后）、「午前中の活動時間」（クラス活動、活動の合間、活動の前、主活動後、設定保育、部分実習前、好きな遊びの時間、先

生を待つ間、外遊びの前、誕生会、お集まり前）、「給食の前後の活動」（昼、午睡前、昼食前、歯磨き中、おやつ後）、「帰りの会を含む前後の活動」（帰りの会、帰りの会前、バス待ち、降園時、降園前、帰り、預かり保育、夕方）、「その他」（3限目、コースに分かれたとき）に分類した（図3）。

最も読み聞かせを実践している時間帯は「帰りの会を含む前後の活動」（59%）であることがわかる。

「帰りの会」の中で絵本を読み、一日の活動の終わりを静的に終わり、明日へと期待につなげることに絵本を活用しているようである。子どもの一日の終わりの楽しみの時間と言えるのではないだろうか。また、「活動の前後」での読み聞かせを考えると、保育の導入として用いられる場合があるが、活動によっては、子ども達が次の活動に移る際に全員の注意を向けるため、または、全員の子どもが揃うまでの時間調整に使

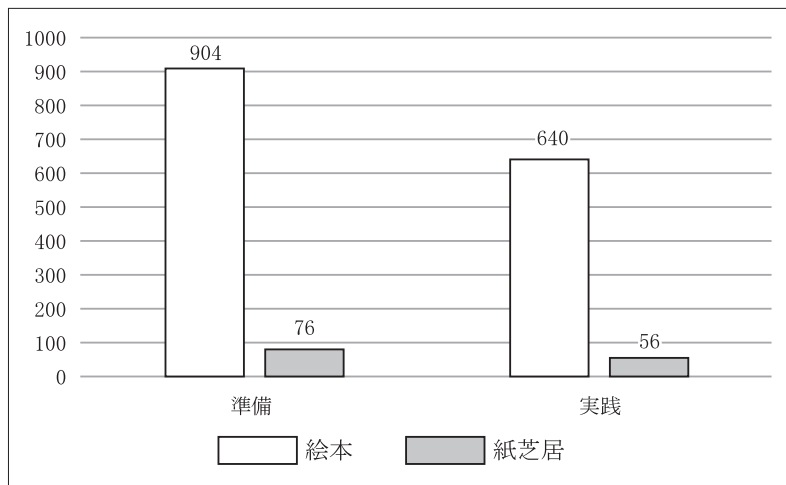


図2 絵本・紙芝居準備・実践数

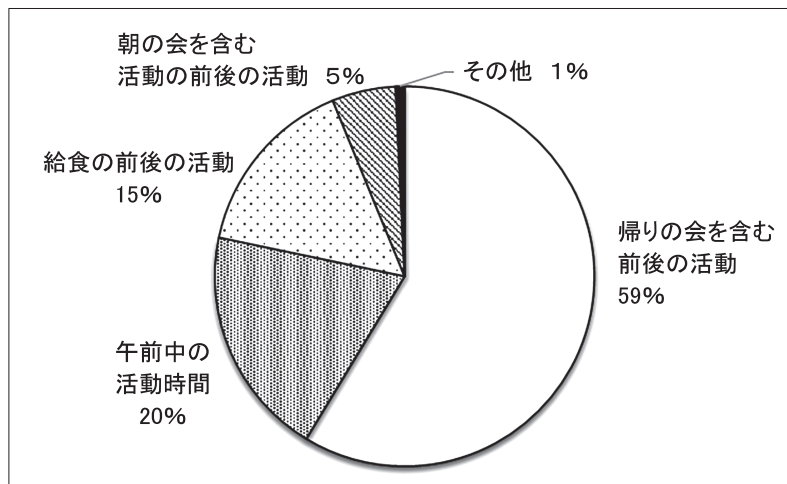


図3 活動時間別実践割合

われることもあると考えられる。帰りの会、活動の前などの子ども達が揃ったところでの、絵本の読み聞かせが望ましいと思われる。

### ③準備した絵本・紙芝居の詳細

実際に実習生が準備した絵本は665種類、紙芝居は79種類であった。そのうち実習生が二人以上準備して

いる絵本123冊、紙芝居4冊を抽出した(表1)。

準備された絵本は、長い間読み継がれている、シリーズ化されている、実習時の季節に合っているといったことが特徴の一つとして挙げられる。

10冊以上選ばれている絵本は7種類である(資料1)。

表1 準備した絵本・紙芝居一覧(一部)

絵本題名	冊数	絵本題名	冊数	絵本題名	冊数
はらべこあおむし	15	ぐりとぐらのおおそうじ	3	十二支のはじまり	2
はじめてのおつかい	13	ぐりとぐらのおきゃくさま	3	しろいうさぎとくろいうさぎ	2
ぐるんぱのようちえん	11	ぐりとぐらのかいすいよく	3	しろくまちゃんのほっとけーき	2
くれよんのくろくん	11	くろくんとふしぎなともだち	3	すいかのたね	2
そらまめくんのベッド	10	しんごうきピコリ	3	すてきな三にんぐみ	2
ちょっとだけ	10	だるまさんが	3	せんろはつづく	2
わたしのワンピース	10	ちいさなクレヨン	3	ぞうくんのさんぼ	2
からすのばんやさん	9	でこちゃん	3	そらいろのたね	2
ぐりとぐら	8	どろんこおおそうじ	3	そらとぶパン	2
どうぞのいす	8	とんでもない	3	そりあそび	2
11ぴきのねこ	7	ねずみくんのひみつ	3	たまごにいちゃん	2
キャベツくん	7	ねずみのかいすいよく	3	だるまちゃんてんぐちゃん	2
そらまめくんとめだかのこ	7	ねないこだれだ	3	ちいさなきいろいかさ	2
おおきなかぶ	6	ばけけけけけけけけたくん	3	ちいさなたまねぎさん	2
てぶくろ	6	パパ、お月さまとって!	3	ちいさなねこ	2
ねずみくんのチョコッキ	6	バムとケロのさむいあさ	3	ちか100かいだてのいえ	2
しりとりがだいすいなおうさま	5	まあちゃんのながいかみ	3	どうぶつサーカスはじまるよ	2
どろんこハリー	5	みいつけた	3	ともだちや	2
めっきらもっきらどーんどん	5	りんごがひとつ	3	ねずみくんとホットケーキ	2
100かいだてのいえ	4	100万回生きたねこ	2	はっぱのおうち	2
11ぴきのねことあほうどり	4	14ひきのあさごはん	2	バムとケロのおかいもの	2
いいからいいから	4	14ひきのさむいふゆ	2	バムとケロのにちようび	2
おしいれのぼうけん	4	14ひきのピクニック	2	ひなまつり	2
おばけのてんぷら	4	3びきやぎのがらがらどん	2	ぼくやってみるよ	2
おふろだいすき	4	あめ	2	ぼくんちどうぶつえん	2
オレ、カエルやめるや	4	あめふり	2	まいごのたまご	2
かぼくん	4	あわてんぼうさちゃん	2	マフィーくんとジオじいさんふしぎなぼうし	2
さんびきのこぶた	4	いじわるなないしょおばけ	2	みんなみんなみ一つけた	2
三びきのやぎのがらがらどん	4	おこだでませんように	2	むしばいっかのおひっこし	2
しろくまのパンツ	4	おはよう	2	めがねうさぎ	2
せんたくかあちゃん	4	おめんです	2	もうちょっともうちょっと	2
トマトさん	4	がいこつさん	2	やさいのおしゃべり	2
にじいろのさかな	4	かいじゅうたちのいるところ	2	ゆうくんのくまパジャマ	2
バムとケロのそらのたび	4	かたつむりののんちゃん	2	よかったねネッドくん	2
へんしんトンネル	4	きょうのおべんとうなんだろな	2	よるくま	2
もうぬげない	4	きょうはなんのひ?	2	わすれられないおくりもの	2
もったいないばあさん	4	くいしんぼうのあおむしくん	2	わにわにのおふる	2
いないいないばあ	3	くまさん	2		
おじさんのかさ	3	ぐりとぐらのえんそく	2	紙芝居題名	冊数
おしりたんてい	3	くろくんとちいさいしろくん	2	あんぱんまん	2
おでかけのまえに	3	ケーキがやけたらね	2	おおきくおおきくおおきくなあれ	2
おばけのおつかい	3	こんとあき	2	しくしくブタはわらうかな	2
ぐりとぐらとくるりくら	3	しっぽ!しっぽ!しっぽ!	2	ぞうさんきかんしゃぼっぽぼ	2

資料1

「ぐるんぱのようちえん」(西内ミナミ 作, 堀内誠一 訳,1966,28 頁, 福音館書店)
「わたしのワンピース」(にしまさかやこ 作・絵,1969,44 頁, こぐま社)
「はらぺこあおむし」(エリック・カール作, もりひさし 訳,1976,25 頁, 偕成社)
「はじめてのおつかい」(筒井頼子 作, 林明子 絵,1977,32 頁, 福音館書店)
「そらまめくんのベッド」(なかやみわ さく・絵,1999,28 頁, 福音館書店)
「くれよんのくろくん」(なかやみわ 作・絵,2001,32 頁, 童心社)
「ちょっとだけ」(瀧村有子 作, 鈴木永子 絵,2007,32 頁, 福音館書店)
※出版年は日本で発売された年を示している。

多数準備・実践されている絵本は「ぐるんぱのようちえん」や「わたしのワンピース」など、7冊中4冊が発売されてから40年以上経ち、長年読み継がれている作品が多い。これらと比べると、「ちょっとだけ」や「そらまめくんのベッド」のように比較的新しい絵本もあるが、初版から10年以上経っていることを考えると、学生が幼少期に読み聞かせなどを通して親しんでいた可能性が高い。絵本を準備する際は、自分の経験に基づき記憶に残っている作品を選ぶことが多いからではないだろうか。

また、全体のページ数は30頁前後となっている。これは読み聞かせをする際、適当な長さなのではないかと考えられる。

さらに、シリーズ化されている絵本もある。「くれよんのくろくん」シリーズは、他にも「くろくんとふしぎなともだち」(3冊)、「くろくんとちいさいしろくん」(2冊)、「そらまめくんのベッド」シリーズは、「そらまめくんながいがいいちにち」などが準備されている。表1には示されていないシリーズも含めると、他にも13種類挙げられる(資料2)。

資料2

「11ひきのねこ」(5種類)
「14ひきのねずみ」(4種類)
「999ひきのきょうだい」(2種類)

「かたつむりののんちゃん」(2種類)
「キャベツくん」(2種類)
「ぐりとぐら」(8種類)
「ねずみくんのチョコッキ」(6種類)
「だるまさん」(2種類)
「ばけばけばけばけばけたくん」(2種類)
「ばばあちゃん」(3種類)
「バムとケロ」(4種類)
「へんしんトンネル」(4種類)
「まくらのせんにな」(3種類)

シリーズ化されている絵本は、1冊読んで心に残ると、次に出版された際、テーマは変わっても、主人公の様子に親しみがあがり、内容の展開を予想することができる。そのため、興味を持ちやすく手に取る機会も多いのではないだろうか。

また、今回調査した実習は2月と6月であったため、表1にはその時期に合った絵本も選ばれている(資料3)。

資料3

<b>【2月】</b>
「てぶくろ」
「バムとケロのさむいあさ」
「14ひきのさむいふゆ」
「そりあそび」
「ひなまつり」
<b>【6月】</b>
「オレ、カエルやめるや」
「おじさんのかさ」
「あめ」
「あめふり」
「かたつむりののんちゃん」
「ちいさなきいろいかさ」
「むしばいっかのおひっこし」

同様に1冊準備した絵本にも類似している内容の絵本が多数みられる。

2月の実習では、寒い時期であることが感じられる絵本、2月の行事であるひな祭りに関連する絵本が選ばれている。6月の実習では、梅雨のイメージにある

雨や傘、カエルやカタツムリなどが出てくる絵本、虫歯予防デーにちなんだ絵本が選択されている。

実習事前指導において、養成校教員は季節を考慮した題材を意識するよう働きかけていることもあり、学生自身も教材や設定保育の題材を準備する際は、季節に合わせた内容を選ぶように心掛けているのだろう。

## 6. まとめ

今回の調査では、絵本・紙芝居の準備・実践を中心に分析を行ったため、データとしては示していないが、回答を見ると、絵本・紙芝居を実践する前に手あそびを行っている場合が多くある。そのため、「準備しておいて（しておけば）よかったこと」の回答では、絵本や紙芝居の準備と同様に、手遊びについての準備の必要性が多く挙げられている（資料4）。

### 資料4

#### 【準備しておいてよかったこと】

- ・絵本の読み聞かせの練習をしておいて良かった。
- ・異年齢クラスのため、季節に合った絵本をたくさん用意していてよかった。
- ・絵本を準備していたので、突然頼まれても対応できた。
- ・図書館だと貸し出し日数が限られるため、家にある絵本を準備しておいてよかった。
- ・紙芝居を選ぶときに、あらかじめ保育者としっかり話し合いをしていたことがよかった。
- ・手あそびを準備しておいてよかった。

#### 【準備しておけばよかったこと】

- ・手あそび-ちょっとした時間にできるものを準備しておけばよかった。
- ・絵本・手あそびは10くらいあると余裕がでる。
- ・たくさん手あそびを準備しておけばよかった。
- ・授業で配られた絵本のプリントを持ってきていれば良かった。
- ・季節に合わせた手あそび・絵本・紙芝居の準備をしておけば良かった。
- ・絵本の内容に合わせた手あそびの準備をしておけば良かった。
- ・対象年齢に合った絵本を選ぶのが大変だった。
- ・クラス・年齢に合わせた絵本・紙芝居を準備して

おけばよかった。

- ・絵本だけでなく紙芝居も準備しておけばよかった。
- ・子どもたちが読んだことが無いような絵本を準備しておけばよかった。
- ・幼稚園に無さそうな絵本を準備しておくとうい。
- ・普段読み聞かせをしてもらっている絵本を確かめておくとうい。
- ・絵本の内容をしっかり理解しておいた方がよい。
- ・絵本は内容を知らずに読むと長すぎて子どもが飽きてしまった。
- ・紙芝居の持ち方、読み方を練習しておけばよかった。

#### 【その他】

- ・絵本や手あそびは急に（いきなり）頼まれる。

多く挙げられているのは、やはり「絵本・紙芝居・手あそびを多く準備する」ことであるが、詳しく見ていくと準備の方法にまで言及されていることがわかる。例えば、「子どもの年齢・発達やクラスの子どもの状況に合わせる」こと、そのために「事前に保育者と打ち合わせをしておく」ことが重要であることが示されている。そこには「子どもたちが読んだことのない絵本を読んであげたい」という実習生の思いも表れているようである。また、準備の中には「読み聞かせの練習」をすることの大切さを挙げている学生もおり、それは「内容を十分に理解しておかなければ、子どもに伝わらない」ことを実習の経験より学んでいるからであった。

学生は、実習を経験することにより、絵本や紙芝居の準備の状況や実践のあり方についての学びを深めることができているようである。しかしながら、準備の状況及び記述欄を見ると、事前指導や他の授業において準備したことが活かされていない学生がいることも明らかとなった。今後、学生が積極的に実践に結び付けることができるように事前指導等において働き掛けを行う必要があると考えられる。

### 【引用文献】

- (1) 福岡女学院大学実習の手引き (2019) p20
- (2) 「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」の一部改正について (平成30年改正) 厚生労働省
- (3) 「教職課程コアカリキュラム」文部科学省
- (4) 幼稚園教育要領解説 (2018) フレーベル館 p228

### 【参考文献】

- ・ 幼稚園教育要領 (平成29年告示) 文部科学省
- ・ 幼稚園教育要領 (平成20年告示) 文部科学省
- ・ 保育所保育指針 (平成29年告示) 厚生労働省
- ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成29年告示) 文部科学省・厚生労働省・内閣府
- ・ 保育実習指導のミニマムスタンダード (2018) 一般社団法人全国保育士養成協議会編
- ・ 幼稚園教育実習生の保育実態からとらえた保育実践力—幼稚園教育実習の現状と課題— (2015) 幼児教育研究 (1) pp.31-36